

音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマーコース 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 45 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	アイソレーションⅡ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	68	2	2
講義	表現Ⅱ	68	2	4
実習	パフォーマンス実技Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	28	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	☐	非該当 ■
担当講師 実務経歴					
授業概要					
著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。					
到達目標					
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	NHKスペシャル「知は誰のものか」映像視聴及び解説 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造とJASRACとの契約
【前期】 11～13回目	JASRACの成り立ちと自由化への流れ JASRACの功罪 音楽教室から著作権使用料を徴収することの是非について 【作文提出】
【前期】 14～18回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施・前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
【後期】 19～21回目	CD制作に関する印税の仕組み レコード会社の収益について 原盤制作費とリクープラインについて
【後期】 22～25回目	インタラクティブ配信における印税の仕組み 動画投稿サイトに関する著作権について 放送・カラオケに関する著作権について
【後期】 26～28回目	演奏・レンタルに関する著作権について 音楽ビジネスの現状 【作文提出】 著作物の利用に関して 著作物の利用手続き、所有権と著作権の違いを理解する
【後期】 29～31回目	著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則に関しての理解を深める AIと著作権 ビデオ視聴
【後期】 32～36回目	AIと著作権 【作文提出】 テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施・後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と著作権ビジネスの構造について学びます。また、JASRACに関しても、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけ、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 後期では主に音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルグループⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ダンスヴォーカルパフォーマー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	鍵盤弾き語り、シンガーソングライター。 The 8th Music Revolution Hi-Gain大会、V3新人オーディション20th、など、多数のオーディションでグランプリ、ファイナリストに選出される。 2016佐賀年気球世界選手権、TV CM、企業CM、短編映画、への楽曲提供なども行なっている。				
授業概要					
多くの難易度の高い楽曲(GOSPEL・ミュージカル楽曲・POPS等)を通し、心の解放・ハーモニーへの理解、発声や歌唱法を学ぶ。 時にはリードボーカルのオーディションを行い、生徒同士で競争することによる技術向上を目的とする。					
到達目標					
・大人数の中で歌うために必要な知識や技術の習得。ハーモニー(ハモリ)を作ることの技術習得。					
・グループの一員としてステージに立ち、時にはchoirとして、時にはリードボーカルとしての歌唱法や立ち振る舞い、パフォーマンスを学ぶ。					
・ハモることへの不安がなくなる。					
・心を解放させ身体全体を使ってステージパフォーマンスができる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	パート分け(女子2パート、男子2パート) 1曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【前期】 4～7回目	2曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定 1曲目とともにLIVE WEEKに向けてパフォーマンス込みで練習。
【前期】 8～10回目	3曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定 1曲目とともにLIVE WEEKに向けてパフォーマンス込みで練習。
【前期】 11～13回目	4曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【前期】 14～17回目	前期まとめ (1～4曲目の復習) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱技術 / ハーモニー / パフォーマンス / チームワーク」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	5曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【後期】 21～24回目	6曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【後期】 25～27回目	7曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【後期】 28～30回目	8曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【後期】 31～34回目	過去にやった曲の中からLIVE WEEKに向けて選曲、復習、パフォーマンス込みで練習 ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱技術 / ハーモニー / パフォーマンス / チームワーク」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱技術 / ハーモニー / パフォーマンス / チームワーク」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	グループボーカルを経験することにより、ハーモニーに対する不安感を拭えます。また、普段は聴かないようなGOSPEL等を聴くことにより、リズム感や発声法を学ぶこともでき、大人数で声を出すことにより、心の解放や私たちの声を持つパワーを直接感じることもできます。この授業を通して様々なジャンルに触れ、多くのことを学びきっかけにしましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスベーシック&アイソレーションⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	アイソレーションⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ダンスチーム Mool(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。 2005年よりダンスをはじめ、2014年よりインストラクター、今日に至る。					
授業概要						
ストリートダンスに必須な基礎的なムーブや技術、アイソレーションと呼ばれる体の各部位を個別に動かす方法を、ダンスミュージックに合わせてコントロールする方法を習得する。						
到達目標						
・ストリートダンスの基本であるアップとダウンに加え、様々なリズムを理解する。						
・様々なジャンルのダンスのベーシックな動きを理解する。						
・ベーシックな動きを音楽に合わせる方法を理解する。						
・楽曲に合わせて、アイソレーションや基本的な動きをコントロールすることができる。						
・様々なジャンルのベーシックな動きを使い分けすることができる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ロジャラビット、ハッピーフィートなどのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 4～7回目	ジャーク、チャールストンなどのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 8～10回目	パーティマシーン、スポンジボムなどのムーブのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 11～13回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習
【前期】 14～17回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、前期の振り返り ■前期試験:ダンスにおける「リズム感 / スキル / シルエット」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	モネストリー、クロスステップ(HOUSE)などのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 21～24回目	ツーステップ(HOUSE)、ピーターポール(HOUSE)などのムーブのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 25～27回目	HOUSEの細かいテクニックやステップのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 28～30回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習
【後期】 31～34回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、後期の振り返り ■後期試験:ダンスにおける「リズム感 / スキル / シルエット」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感 / スキル / シルエット」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次に学んだ基礎的なテクニック、アイソレーションをさらに熟練させ、音楽に合わせることでより高度なダンススキルを習得することができます。授業で学んだ内容を復習し反復練習することで、自身の更なるスキルの向上につながります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヒップホップⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーやMV出演など、様々な経験をする。アーティスト育成スクールの全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、ダンサーとしてだけでなく、アーティストとしてのスキル、在り方、知識等も学んでいる。現在は培ったアーティストとしての意識を、ダンサーとして表現していき、福岡を中心に様々なスクールでの講師や、メジャーシーンへ振付提供や出演等の活動をしている。					
授業概要						
HipHopの中でも様々なカテゴリーを、時系列で習得する。						
到達目標						
・あらゆるHipHop danceを理解し、振付をマスターする。 ・文化であるHipHopをダンスの分野から理解する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	HipHop創世記のダンス～Breaking
【前期】 4～7回目	New Jack Swing 基礎
【前期】 8～10回目	New Jack Swing 振付
【前期】 11～13回目	Old school HipHop 基礎
【前期】 14～17回目	Old school HipHop 振付 ■前期試験:ダンスの実技により「リズム感/完成度/理解度」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	New school HipHop 基礎
【後期】 21～24回目	New school HipHop 振付
【後期】 25～27回目	Millennium HipHop 基礎
【後期】 28～30回目	Millennium HipHop 振付
【後期】 31～34回目	振付まとめ ■後期試験:ダンスの実技により「リズム感/完成度/理解度」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/完成度/理解度」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アーティストやSNSを中心にダンスが広まっている中、今現在の流行りの動きや振付の基礎となっているジャンルの一つで、とても大切です。動きだけでなく、その歴史も一緒に学んでいきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイストレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ダンスヴォーカルパフォーマンス					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡や熊本を拠点とし、プロダクションや個人レッスン等でヴォイストレーナーとして幅広く活動中。 ハリウッド式メソッドを中心としたヴォイストレーニングを採用。SSWオリジナル曲のヴォーカルディレクションやアプロダクション 所属アイドルへの歌唱指導など、各ジャンルに応じた歌唱力・表現力向上の為の技術指導を行う。					
授業概要						
歌唱の基礎、呼吸や姿勢、発声の際に使う体の使い方を学び、ピッチ、音価の正確性を高める。また、手拍子や体を使いリズム感をしっかりと養い、歌唱の際に表現に集中できるようにする。						
到達目標						
・呼吸法の基礎を習得。 ・発声の際の姿勢を習得。 ・骨盤底筋、インナーマッスルを強化し、発声の安定性を獲得する。 ・力を入れずに発声できるようになり、自然な姿勢でリズムに乗れるようになる。 ・歌の中で使える滑舌を習得し、言葉が伝わる歌唱ができるようになる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	各々の発声の状態、問題を確認。トレーニングメニュー説明＆実践。ロングトーンやスケールを使い基本的な発声練習。
【前期】 4～7回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。表情筋トレーニング。チェストボイスを中心に、トレーニング。
【前期】 8～10回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。ヘッドボイスを中心にトレーニング。
【前期】 11～13回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。声区融合トレーニング
【前期】 14～17回目	前期テスト対策。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
【後期】 18～20回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。メトロノームを使い任意の曲をアカペラで歌唱。調声、リズムトレーニング。
【後期】 21～24回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。表情筋トレーニング。
【後期】 25～27回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 28～30回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 31～34回目	通年のまとめ。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声に関する用語、仕組み/発声 / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声は筋トレです。フィジカルをしっかりと鍛え、自分の内なる声を引き出し、ステージで何の不自由もなく歌えるようになりますように。う
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	感情表現・滑舌Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	表現Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・バシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
歌唱時の「感情表現力の向上」と「滑舌の改善」を目的に、応用・発展の知識と技術を講義と実践で学んでいきます。 歌唱パフォーマンスを行う際の「顔の表情/身体の動き/声」など、それぞれ感情を表現する力を向上させる。 また発声時の滑舌を改善し歌唱時の歌詞をより聴き取り易くし、聴き手の歌詞や世界観を理解しやすくする説得力を向上させる。 これにより楽曲を表現する際の「深みや解像度」を増し、総合的なパフォーマンス力向上を目指します。						
到達目標						
・歌唱及び身体を用いての喜怒哀楽＋複合感情＋微細表現を自在に出来るようになる。 ・歌いながら動いても“音程・リズム・言葉の明瞭さ”が崩れないようになる。 ・舞台に合わせた最適な表現を総合的なパフォーマンスへと昇華する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・声と身体のリセット ・共鳴の再調整・拡張 ・滑舌の土台の再整備
【前期】 4～7回目	・母音操作の応用 ・子音でリズムを作る技術 ・課題曲を使った明瞭度強化 ・声色(ボイスカラー)の高度操作
【前期】 8～10回目	・ダイナミクス × 感情の融合 ・セリフと歌を“同じ人間”として繋ぐ訓練 ・歌いながら動くリズム訓練
【前期】 11～13回目	・ニュアンス技術(プロの歌い直し) ・言葉の重心とフレーズ流し ・感情表現の深掘り
【前期】 14～17回目	・感情の強弱・温度調整 ・子音の粒立ち徹底調整 ■前期試験:実技試験にて「感情表現の習熟度/発声の明瞭具合」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	・実曲での“発音クリニック”個別の苦手語を修正 ・ダンスしながら息をキープ ・ロングフレーズ耐久強化
【後期】 21～24回目	・声量の幅を広げる ・ハスキーノイスパー応用 ・パワーボイス・シャウト ・声質キャラクター作り
【後期】 25～27回目	・感情 × 滑舌 × 声色:ダンスも含めた総合トレーニング ・曲ごとの感情差分作り ・音声分析(録音チェック)
【後期】 28～30回目	・感情伝達度分析 ・リズム・音量・声色・滑舌の客観分析
【後期】 31～34回目	・1年間トータル復習・確認 ■後期試験:実技試験にて「感情表現の習熟度/発声の明瞭具合」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「感情表現力/発声時言語明瞭具合(滑舌)」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	「うまく歌う」ことだけを目指すのではなく、自分自身が何を感じ、どのように伝えたいのかを意識することで、パフォーマンスの質は大きく向上します。技術的な基礎とともに、自身の感情を適切に音へと変換する方法を学び、より深い表現力の獲得を目指しましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ジャズⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	パフォーマンス実技Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・堂本光一主演ミュージカル「Endless SHOCK」、亀梨和也主演ミュージカル「DREAM BOYS」ダンサー出演 ・東京モーターショー、プロモーションビデオ「no more」「RESCUE」ダンサー出演					
授業概要						
ジャズダンスの応用的な動きをマスターし、様々な楽曲を表現できる技術を習得します。						
到達目標						
・ジャズダンスを通して感情を表現する方法を理解する。 ・様々なジャズ、バレエのテクニックを用いて楽曲を表現することができる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ピルコット(ダブル)右を出来るように練習
【前期】 4～7回目	ピケ & シェネを用いた基本的なテクニック
【前期】 8～10回目	グランジュッテなどのジャンプの基礎的なテクニック
【前期】 11～13回目	様々なジャズ、バレエの基本的なテクニックを用いたルーティーン(振付)の練習
【前期】 14～17回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、前期の振り返り ■前期試験:ダンスの実技により「スキル / 表現力 / 柔軟性」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	シェネ、ピルエット(ダブル)などのクロスノロアテクニック
【後期】 21～24回目	ピルエット(ダブル)左を出来るように練習
【後期】 25～27回目	フロアを用いたテクニックのレクチャー
【後期】 28～30回目	様々なジャズ、バレエの基本的なテクニックを用いたルーティーン(振付)の練習
【後期】 31～34回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、前期の振り返り ■後期試験:ダンスの実技により「スキル / 表現力 / 柔軟性」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スキル / 表現力 / 柔軟性」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次に学んだ基礎的なジャズ、バレエのテクニックに加え、さらに高度な技術を習得し、より高い表現力を身につけることができます。授業で学んだ内容を復習し反復練習することで、自身の更なるスキルの向上につながります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌唱実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ダンスヴォーカルパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	音楽大学ミュージカル科首席卒業。声楽歴25年、バレエ・ジャズダンス歴15年、「タイムフライズ」・「ゴースト」・「魔法のオルゴール」などミュージカル多数出演。水樹奈々アリーナコンサート、白寿ホールコンサート、その他コンサートMCやレコーディング、TBSドラマなども出演。 歌唱・ボイストレーニング講師として、AKB48、HKT48、スターダストプロモーション福岡、ぱってん少女隊のボーカルコーチ、子役から劇団四季劇団員指導なども行う。また、コーチングの国際資格を活かし、メンタルサポートも行う。					
授業概要						
自ら選んだ楽曲を歌いこみながらテクニックをきめ細やかに、また感情表現をより深めながらシンガーとしての自らをワークショップスタイルの中で確立していきます。生徒それぞれにまだ獲得できていない表現方法を課題曲として与え、獲得に導く。						
到達目標						
・与えられた課題曲に対し、生徒自身がその楽曲に合う表現方法を考慮しパフォーマンスすることができるようになる。						
・既存曲のカバーをする際も、オリジナル曲を自身でパフォーマンスする際も、オーディエンスに届く歌唱、音色(声色)選びができるような思考を定着させる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲1(日本語の楽曲で自由選択)
【前期】 4～7回目	課題曲2(日本語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 8～10回目	課題曲3(英語の楽曲で自由選択)
【前期】 11～13回目	課題曲4(英語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 14～17回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～4の中で1曲をライブシミュレートパフォーマンス) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	レパートリー1(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 21～24回目	レパートリー2(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 25～27回目	レパートリー3(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 28～30回目	レパートリー4(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 31～34回目	模擬ライブパフォーマンス(課題曲1～4&レパートリー1～4の中から数曲を選択し一定時間、MCも含め20分ほどのライブパフォーマンスを構築する) ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現の幅、歌唱における様々なテクニックなど、さらにより高度なものへと押し上げ、自分自身がどのように表現したいのかをオーディエンスに確実に伝えることができるように磨き上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーとして全国を回る、MV出演など、様々な経験をしている。EXPG Labとして全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、アーティストとしての在り方、知識なども学んでいる。現在は海外ダンサーのWSなど積極的に参加し、ダンサーとして実績を残している。					
授業概要						
様々なスタイルの課題を通して、それらが内包するテクニックやリズム、グループフィールやステージング技術の習得を目指すのがライブ実習。ヒットナンバーのパフォーマンスを通してライブ感やステージ対応の更なるグレードアップをはかります。ダンスグループとしての様々な楽曲での振付、ダンステクニックや基礎技術を身につけ、パフォーマンス・表現力を磨きます。						
到達目標						
・1年時の内容から発展授業として、応用技術を習得する。、						
・ダンステクニックや基礎技術、全てのパートを含めたフォーメーション、ステージングの習得。						
・体力の向上、リズム感の向上、パフォーマンス、表現力を磨く。						
・グループとして一つの楽曲を創り上げていき、ステージ発表やライブウィークでのヴォーカルを惹きたたせるパフォーマンス・表現力、基礎知識や技術の習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 4～7回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 8～10回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【前期】 14～17回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 21～24回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 25～27回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 28～30回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【後期】 31～34回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■後期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインダンサーではなく、ダンスヴォーカルグループの中でのダンスパフォーマンス・テクニックを身につけ、ヴォーカルを惹きたたせながら楽曲をより魅力的に表現することが出来ます。それと同時に、体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上、立ち姿やシルエットなどを意識し、曲調に合ったパフォーマンスを見せることが出来ます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーとして全国を回る、MV出演など、様々な経験をしている。EXPG Labとして全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、アーティストとしての在り方、知識なども学んでいる。現在は海外ダンサーのWSなど積極的に参加し、ダンサーとして実績を残している。					
授業概要						
様々なスタイルの課題を通して、それらが内包するテクニックやリズム、グルーブフィールやステージング技術の習得を目指すのがライブ実習。ヒットナンバーのパフォーマンスを通してライブ感やステージ対応の更なるグレードアップをはかります。ダンスグループとしての様々な楽曲での振付、ダンステクニックや基礎技術を身につけ、パフォーマンス・表現力を磨きます。						
到達目標						
・ライブスタイル実習で習得した内容から、更にパフォーマンスに焦点を当て発展させる。						
・ダンステクニックや基礎技術、全てのパートを含めたフォーメーション、ステージングの習得。						
・体力の向上、リズム感の向上、パフォーマンス、表現力を磨く。						
・グループとして一つの楽曲を創り上げていき、ステージ発表やライブウィークでのヴォーカルを惹きたたせるパフォーマンス・表現力、基礎知識や技術の習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 4～7回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 8～10回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【前期】 14～17回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 21～24回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 25～27回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 28～30回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【後期】 31～34回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■後期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインダンサーではなく、ダンスヴォーカルグループの中でのダンスパフォーマンス・テクニックを身につけ、ヴォーカルを惹きたたせながら楽曲をより魅力的に表現することが出来ます。それと同時に、体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上、立ち姿やシルエットなどを意識し、曲調に合ったパフォーマンスを見せることが出来ます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	3歳からダンスを始め多くのジャンルを学び、現在も九州内外で挑戦を続けている。 ・ミュージカル赤毛のアン 2007年 2008年九州公演出演 ・DREAMS COME TRUE WONDER LAND 2015年 九州黒ドリ ・DANCE@LIVE両国国技館2016 HIPHOP FINALIST ・GATSBY DANCE COMPETITION 2015 日本代表(Reckless)・JAPAN DANCE DELIGHT2017 FINALIST(Reckless) ・AK-69 武道館LIVE 2017 SCENE DANCER・NIKE×RIE HATA PROJECT 2019 DANCER・Danchella Australia 2025 solo division 優勝					
授業概要						
楽曲毎による振付、構成を覚えリズムやニュアンス雰囲気等、幅広い振付ジャンルや魅せ方の習得。楽曲のイントロ、間奏などを活かしソロダンスやユニゾンで魅せるパフォーマンス、ステージングを習得。各シーンにあった意識、ダンス、パフォーマンスを課題により習得。						
到達目標						
・楽曲な考察、雰囲気、ニュアンスを早く理解する。 ・振付を早く理解する。 ・フォーメーション構成を早く理解する。 ・楽曲により雰囲気やニュアンスを変えて表現する事ができる。 ・アーティストダンサーを意識したステージングができる。 ・アーティストバックアップを意識したパフォーマンスができる。 ・オーディエンスを意識したパフォーマンスができる。 ・短い期間でテーマ、振付、構成を覚えられる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲1】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。 【課題曲2】楽曲の考察とリズムの把握。
【前期】 4～7回目	【課題曲2】課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。 【課題曲3】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。
【前期】 8～10回目	【課題曲3】フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。
【前期】 11～13回目	◇課題曲1、課題曲2、課題曲3 のニュアンス、振付構成のクオリティ向上と修正、アドバイス。テストレビュー。
【前期】 14～17回目	【前期まとめ】実技テストで披露した課題曲1.2.3の成果を踏まえてフィードバックとアドバイス。前期まとめと後期に向けての個々の修正ポイントや技術アドバイス。 ■前期試験:ダンスの実技により「振付/ステージング/リズム/質感/表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲4】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。 【課題曲5】楽曲の考察とリズムの把握。
【後期】 21～24回目	【課題曲5】課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。
【後期】 25～27回目	【課題曲6】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。
【後期】 28～30回目	後期テストレビューと最後の成果発表に向けての練習。◇後期テスト ポイントや課題の成果を発表。ポイントや課題、実技テストに対してのフィードバックとアドバイス。課題曲4.5.6の最後の成果発表に向けて練習、復習、披露。フィードバックとアドバイス。
【後期】 31～34回目	【年間まとめ】これまでの内容と成果、個々の成長を含めまとめと、フィードバック、アドバイス。テストレビュー。 ■後期試験:ダンスの実技により「振付/ステージング/リズム/質感/表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付/ステージング/リズム/質感/表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	バックダンサーやダンスヴォーカルグループとしてのステージングをより学び、2年次はより早い時間で振付、構成を理解して沢山表現しましょう。楽曲とテーマにより幅広い魅せ方と振付になるので少しでも吸収して色々なシーンで活かせるように落とし込んで欲しいです。人に魅せるステージングを意識して自分の夢の為に楽しむ事を忘れず精一杯頑張りましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	EXILE、TRF等のメジャーアーティストのツアーバックアップダンサーをこなし、自身でもダンサーとして振り付け等を行う。						
授業概要							
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。							
到達目標							
・エンターティメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。							
・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。							
・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。							
・チームワーク、協調性を養います。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	